

演題：「明日からできる！CAD/CAM 臨床」

抄録：

平成 26 年 4 月より保険診療において、小臼歯に対し歯科用 CAD/CAM 装置を用いて、ハイブリッドレジン歯冠補綴装置(全部被覆冠に限る)を設計・製作し、装着することが認められました。

今まで歯科用 CAD/CAM 装置は主に自費技工でしか使用することがないものでしたが、保険適用によりクラウンブリッジ技工においては避けて通れないものとなりつつあります。

CAD/CAM ハイブリッドレジン材料は、一般の硬質レジン築盛作業で生じやすい気泡混入・重合不足等の技工上のエラーが発生することなく、高レベルかつ安定した品質の補綴装置の製作が行えることが最大の特徴ですが、従来の材料に比べ口腔内に装着する際に注意を要する場合もあります。

そこで本講演では、松風 S-WAVE CAD/CAM システムを使用した臨床ケースの紹介や CAD/CAM 材料における接着の注意点などを、私がこれまで経験してきたことを踏まえながらお話ししたいと思います。

最近では金属の値段が高騰しており、価格の安定した CAD/CAM 材料が歯科業界の活性化につながると感じております。

ぜひこの講演を機会に、より多くの方々が CAD/CAM システムの素晴らしさを体感していただければ幸いです。